

定 一部金貳錢 廣 五號十二 刊休 日曜大衆
 日刊 發行編輯人 川崎文治 本社下同番地 (電話六三〇番)
 印刷所 常盤毎日印刷所

常盤新聞

刊夕日一月七

常盤毎日新聞
十姉妹の將來 (三)
 古川龍城
 小鳥は娯樂であり、贅澤である。それがどうしたと言ひたくなる。それで今後小鳥が盛んに海外に出るやうになつたら、一つ農林省に頼んで、飼鳥試験場といふ堂々たる役所を拵へて貰ふが一番よい。
 近頃、販賣部数はともかく、低級な新聞が小鳥飼ひの悪口を言つたので、むきになつて怒る人々があるが小鳥が亡國なら、酒、煙草、絹物、花は元より文字、演劇、藝術、宗教などの、直

接生産業に關係ないものはすべて亡國に導く案内者でたゞ農工業だけが、興國の原因となる。としたり、そんな亡國論を書く記者先生も何等直接生産業に關係がないから矢張り亡國に副ふの一員と言はねばならぬ。
 十姉妹の話から飛んだ處へ脱線したが、將來十姉妹を重要輸出品の一として世人の認めさせる様になるのは、果して何時の日か、一日も早くその實現を望む次第である。(をばり)

活版印刷の御用命を御願致します

明鮮美優 嚙可速敏

所刷印日每警常 五三町橋長町平 (番〇三六話電)

婦人洋傘 麥帽各種 ワイシャツ
 女學生用日傘ト雨傘 通學用ノ防水マント
 平町四丁目 ツルヤ商店 電話百四十番

初夏 特選名畫大會
 納涼 マキノプロダクション小室作品
 萬天下女性の憧れ…… 月形龍之助主演
 誕生復歸第二回映畫
雲母坂 十卷
 大衆作家直木三十五氏原作 マキノ俊才秋篠柵次郎監督 久利富周介、杉狂兒助演
 帝キネ 松本三郎 一流の劍戟王 大殺陣
 夜行 **亂魔** 八卷
 劍の祟り妖刀の呪ひ其處に修羅の巷を作り亂魔の天地を展開す
 小笠原プロダクション製作 マキノプロダクション提供
 日本一 高島愛子主演
 活劇 **我は海の子** 八卷
 原田龍次、瀧田静技助演
 名花澤蘭子主演
黎明の里 六卷
 瀨川銀潮、横山隆吉助演
 マキノ・帝キネ映畫
 一日…… **有聲座**

毎週土曜デー (午後三時より……午後十時まで)
品十錢 カフェエータヒラ
 コーヒーケーキ付
 平町一丁目 (電話六二〇番)
 ◎土曜デー洋食の出前は御遠慮下さい

横森博士の推奨せる **養命酒**
 其偉効眞に神の如く
 定價……一圓五十錢、二圓
 平町五丁目角 山野邊藥局

豚肉土曜日曜割引提供
 夏期の保健上榮養ある新鮮なる豚肉を召上れ
 豚肉割引値段
 ロース百斤ニ付金六十錢
 上肉同 金五十錢
 並肉同 金四十錢
 平町土橋通り電話三四四
大塚肉店
 平劇場前 電話六六七
大塚亭肉店
 御賣特に御相談いたします

涼しい御召物の……
 優美高尚着心地よく 而かも染色堅牢と大好評
 ◆新館階上陳列
 涼しい縞中形 軽い夏帯 豊富に取揃へてあります 是非御高覧の榮をお待ちして居ります
三井吳服店
 平町三丁目 電話三十八番

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
 平南町 (電話一七〇番)

脚氣、淋毒、梅毒、神經痛の (徳島縣、當金屋の家傳の大妙藥)
退痛散 特約店 大平屋藥店 電話六四二番
 總て藥劑は服用せずして其効を論ずるを得ず敢て壹週間の服用を奨め以て其實驗的證明を俟つのみ。

平町 吉田眼科醫院
 院長 醫學士 高久忠
 副院長 新潟醫學士 赤羽清
 藥局長 藥劑師 佐竹菊雄
 平町田町 電話五二三番

原齒科醫院
 平町土橋通り電話三一三番

平町 紺屋町 藤沼醫院
 電話四五〇七番

内科。外科。婦人科。小兒科。花柳病科。
磐城病院
 平町田町本通り 入院隨時 (電話二一四番)

配當歩合は…… 低下の申合せに基く

整理續行で利益は相當に 平地方各銀行決算

本年上半期の決算はいよいよ六月三十日を以て締切つたので各銀行では支店派出所等の報告を得る關係もあつて夜半まで執務した當期の營業成績は年來の不景氣と過般の財界變動に基くモラトリアムの實施などもあつた關係で豫期通りでなかつたことは事實であらうが然し前年來の整理續行で相當の利益金分配をなし得る程度に至つたことは是亦疑ふべくもない尤も配當歩合は先般の政府並びに日銀の勸告で何れも五厘乃至一步の歩合低下を申合せてあるから前記の決算を基礎とする利益金處分案なるものは當然この歩合によるであらうから先づ以て年七厘が普通といふことになるのであると

散々な入山採炭 氣の毒な前半期

爭議や變災に禍されて 損失十九萬三千餘

石城郡湯本町入山採炭株式會社の上半期營業成績を付議すべき株主總會を廿八日東京本社で開いたがその成績を見るに上半期當初はいちじるしき
出炭増 で一日本均千三百トン見當で炭價もトク當り五六十錢の高値を見せ好調を示していたが打撃く労働爭議にたゞられて爭議期間に常日の出炭を見ず前期の販賣高十九萬トン百九十九萬六千餘圓に比して
販賣量 三萬トン十五萬三千餘圓と激減おまけに臨時支出として労働爭議

のたために十五萬圓第五坑爆發による變災事件に對する遺族扶助料社葬等に三萬圓都合十八萬餘圓の經費支出となり欠損と臨時支出に前期繰越金を差引き十九萬三千餘圓の損失を見せているが現在の出炭

成績を 見るに一日平均千四百五十トンの出炭を見つゝあり炭價も好調を呈しつゝあるので今期ばかりは大意氣込みの体である

無電を設置 船客との連絡

石城郡豊間村鹽屋岬燈臺は

今春霧笛信號機を設置し濃霧の襲來に依つて生ずる航海中の危険防止に努める事となつたが濃霧の甚だしい梅雨期に這入り既に同海岸附近で航海中の商船並に漁船の坐礁事件が前後二回突發したので同信號機が存在を愈々危まれて來たので政府では之が完全を期する必要があるとして明年度事業費に豫算約五萬圓を計上し同所に無電の設置を併置する事になつたが同燈臺は航海中の船客との間に無電を以て連絡を取るといふが出來完全に防止し得らるゝ効果があり且つ我國最初の試みとして實現を期待されて居る

春蠶減收の因は 未熟教師の罪か

農收豫想を裏切られた 石城地方の收繭

石城郡地方に於ける本年の養蠶が最初掃立枚數の減少するに反し増收を豫想されたるに收獲後の總勘定から見れば未だ適確なる數字を求むると困難なれど
大体に 二割乃至三割程度の減收を見るに至つたので郡養蠶同業組合では之れが原因等に就き嚴密なる調査を行ふこととなつたが氣候に於ては略順調に推移し桑葉も發育良好なりしたる適量に給桑されてゐたのであるから減收を見るが如きに至つては一寸

見當が 付かないと當局では言つてゐるが近年如何はしき養蠶知識皆無の不正の徒が養蠶教師だなど、純朴なる地方養蠶家を愚弄し出たら目な講義指導を試みては莫大な謝禮などを受け徘徊してゐる向きもある様であるから之れ等無定見の指導法に基き夫が爲折角優良繭を得る等なるものが

異蠶な ぞを生せしめ斯の如き結果を見るに至つたものではあるまいかと



家庭欄

血壓を下げる 胡瓜の變つた喰べ方

イワキ食堂主 (三)

今茲に胡瓜コロッケとも云ふ様なものを御紹介いた

排日の關係から 日本人漁業苦境

米國を視察して歸つた 飛塚試験場長の談

小名濱町縣水産試験場の飛塚場長は米國における漁業の視察を命ぜられ三月下旬出發し三ヶ月間にわたり精細な
視察を なし二十八日夜歸着したが同氏は語る「シヤトルに上陸しワシントン湖におけるさけ、ますのふ化状況を調査しそれからカナダ、ピクトリヤを中心とする日系米人が經營してゐる漁業を視たが將來や

かましい問題が起るらしい
更に南 に下りサンフランシスコ、カルホルニヤ洲の各地から米國漁業の第二の根據地モンテレーにおけるイタリヤ人八割、日本人二割によつて經營されてゐる状態を調査した、日本人の活躍してゐるのはカルホルニヤ洲であるが日本人の漁業に對して制限を加へようとして毎年

の二の根據地モンテレーに

おけるイタリヤ人八割、日本人二割によつて經營されてゐる状態を調査した、日本人の活躍してゐるのはカルホルニヤ洲であるが日本人の漁業に對して制限を加へようとして毎年

の二の根據地モンテレーに

石城の海邊に 大濃霧襲來

難破や行衛不明

石城郡小名濱、江名、豊間の各海岸地方では昨今日如く濃霧が頻々として起り過般も石巻港船が江名海岸にて濃霧のため暗礁に乗り上げ二十九日漸く救助作業を終了した程であるが二十九日小名濱の大敷網船が行衛不明となり搜索船を出すが大騒ぎをなしたが同夜植田町劍の濱に着いた事が判明した同豊間の大敷網船も濃霧のため終日沖合を迂路ついていた程であるが此の濃霧は同一船内で二三間離れば全然識別し得ない程であるといふ

個人消息

鳥海忠助氏(二丁目材木商)人望の篤い平町屈指の材木商であるが今回都合に依り廢業する事になつたので其後は同店の店員として永く働き信用や手腕を一般から認められて居た草野精治氏が引請ける事になつた

兎の耳

廿四まで無籍者
秋田縣土崎町生れ
菅野山松(三)は目下函館市東濱町の某商店に勤めてゐるが生れ落ちると父も母も分らず従つて籍もなく其儘成長して二十歳で結婚したが妻を籍するとも出來ず三十一歳の徴兵検査も受けず三十四歳の今日迄無籍者として過ごして來た處最近憲兵分隊から八釜しく云はれるので吞氣者の由松も閉口してしまひ市の職業紹介所人事相談部へ相談に出たので始めて判つた

無害と判明 磐城セメント

粉末装置成績 石城郡四倉町磐城セメント

つてゐる、近い將來に禁止される運命に陥るかも知れない、現に訴訟なども起つてゐる状態である、カナダはにしん、さけ、とひよりの三大漁業が盛んで將來もつとも有望であるが排日の關係から
日本人 は非常の苦境にあるので今後一層の奮闘を要するであらう

桑園と野菜に
社會が洋灰粉末の飛散を防止すべく過般十五萬圓の工費を投じて作成したるコックトール装置後の水田其他農作物被害程度試験のため工場直近の大浦村大字上新田字岸新田に五十坪の苗代を作成し粉末飛散の被害問題を果して如何なる程度のものであるか未收穫期に於て大体判明する筈であるが目下の處にては連年稲作同様兎角紛紜の種となつた附近桑園の被害に就て何等問題の表面化したものなく其他野菜類に就ても別段その被害を傳へられて居らぬので稲作の結果も恐らく好成绩を収むるものと觀られて